

スポーツに関する意識調査結果の分析結果について

スポーツに関する意識調査結果について分析を行った結果、特筆すべき事項については、以下のとおりである。

1 運動・スポーツの活動について

(1) 1年間に週1回以上、運動・スポーツ活動を行った市民の割合

ア 調査結果

31.1%

参考

平成14年度に本市が実施した調査（以下、「前回調査」という。）	: 23.5%
国のスポーツ振興基本計画における目標数値	: 50.0%
平成18年度に内閣府が実施した体力・スポーツに関する世論調査（以下、「全国調査」という。）	: 59.6%

今後の活動意向：62.1%〔前回調査：57.3%〕

イ 分析結果

前回調査の結果と比べ、7.6ポイント上回っているが、国のスポーツ振興基本計画における目標数値や全国調査と比べると大きく下回っている。全国調査については調査方法が異なる部分があるため、単純に比較はできないが、その差を縮める方策を検討する必要がある。また、今後の活動意向では、62.1%の人が週1回以上スポーツをしたいと答えており、運動・スポーツ活動を希望しているが、実際には実施できていない人が多い。

(2) 運動・スポーツの理由・目的

ア 調査結果

1位 健康・体力づくりのため（40.9%）〔前回調査：40.0%〕

イ 分析結果

「健康・体力づくりのため」に行っている人が最も多く、健康志向型の運動・スポーツを好む傾向にある。

(3) 運動・スポーツをしていない理由

ア 調査結果

1位 時間がないから（19.2%）

2位 機会がないから（17.8%）

イ 分析結果

限られた時間の中で運動・スポーツ活動が行えるよう、身近な場で運動・スポーツが実施できる環境を整える必要がある。

2 運動・スポーツの指導者について

(1) 運動・スポーツの指導をしてもらいたい人及び理想とする指導者像

ア 調査結果

<運動・スポーツの指導をしてもらいたい人>

- 1位 プロのコーチ（19.5%）〔前回調査：24.2%〕
- 2位 地域のスポーツ団体関係者（11.0%）〔前回調査：5.2%〕
- 3位 体育指導委員（8.7%）〔前回調査：10.5%〕

<理想とする指導者像>

- 1位 技術指導をしてくれるコーチ型（54.4%）〔前回調査：66.5%〕

イ 分析結果

指導してもらいたい人として「プロのコーチ」が最も多く、理想とする指導者像は「技術指導をしてくれるコーチ型」が過半数を占めており、競技力を高めるための指導に対するニーズの高さがうかがえる。

3 運動・スポーツのクラブについて

(1) 運動・スポーツのクラブ・同好会への加入状況

ア 調査結果

- 加入している割合（18.6%）
- 未加入者がやりたい運動・スポーツがあれば加入したいと思う割合（41.4%）

参考（前回調査の結果）
 加入している割合（19.0%）
 未加入者がやりたい運動・スポーツがあれば加入したいと思う割合（47.9%）

イ 分析結果

市民のクラブ加入率は、前回調査とほぼ同様であるが、一方、未加入者の加入希望についてみると、「加入したい」とする者の割合は41.4%で、前回調査を下回っている。

(2) 今後の運動・スポーツのクラブのあり方

ア 調査結果

市 民	児童生徒
1位 いろいろな種目や楽しみのあるクラブ（23.1%）〔前回調査：24.0%〕	1位 学校の先生や地域のリーダーが自由に教えているクラブ（24.9%）〔前回調査：17.3%〕
2位 児童生徒や大人と一緒に活動できるクラブ（17.8%）〔前回調査：19.1%〕	2位 いろいろな種目があって楽しめるクラブ（21.4%）〔前回調査：24.1%〕
3位 学校や地域の枠を越えて広い範囲の人が活動できるクラブ（16.6%）〔前回調査：16.6%〕	3位 レベルの高い選手と初心者のメンバーがいっしょに活動できるクラブ（19.0%）〔前回調査：23.9%〕

イ 分析結果

市民や児童生徒が求めるスポーツクラブ像として、いろいろな種目や楽しみのあるクラブが上位を占めている。

4 運動・スポーツの行事やイベントについて

(1) これから参加したい運動・スポーツの行事やイベント

ア 調査結果

市 民	児童生徒
1位 スポーツ観戦 (21.3%)	1位 スポーツ観戦 (18.7%)
2位 食生活指導などの健康教室・講座 (11.8%)	2位 スポーツ競技会 (15.5%)
3位 スポーツ教室・講座 (10.5%)	3位 アウトドアのイベント (15.1%)
4位 アウトドアのイベント (9.3%)	4位 イベント・祭り型行事 (13.7%)
5位 イベント・祭り型行事 (6.8%)	5位 スポーツ教室・講座 (8.2%)

イ 分析結果

運動・スポーツの行事やイベントは、運動・スポーツ活動を行う動機づけとして有効な手段であると考えられる。「スポーツ観戦」や「アウトドアのイベント」、「イベント・祭り型行事」への希望が多く、スポーツを「する」だけでなく、「みる」「ふれあう」イベントが求められている。

(2) 国際大会やプロスポーツ等の試合への関心

ア 調査結果

区 分		今回調査	前回調査
スポーツ競技の国際大会への関心	市民	79.4%	66.5%
	児童生徒	77.4%	57.6%
プロスポーツやトップレベルのアマチュアスポーツの試合への関心	市民	77.7%	77.3%
	児童生徒	77.2%	71.7%

イ 分析結果

前回調査時より国際大会やプロスポーツ等の試合への関心が高まっており、トップレベルのスピードやパワーなどを間近で感じたいという市民の思いがうかがえる。

5 トップス広島について

(1) トップス広島の認知度

ア 調査結果

43.2%〔前回調査：10.0%〕

イ 分析結果

前回調査時に比べ、トップス広島を知っている割合が高くなっており、トップス広島としての活動が浸透しつつあり、また市民の関心も高まっている。

6 運動・スポーツに関するボランティア活動について

(1) 1年間のボランティア活動の有無と活動の意向

ア 調査結果

区 分	市 民	児童生徒
活動した	6.0%〔前回調査：7.7%〕	36.7%〔前回調査：21.9%〕
活動したい	22.3%〔前回調査：26.7%〕	54.7%〔前回調査：38.1%〕

イ 分析結果

「活動したい」の割合が「活動した」の割合を大きく上回っており、活動機会に対するニーズの高さがうかがえる。

7 運動・スポーツに関する情報について

(1) 運動・スポーツに関する団体や事業の認知度

ア 調査結果

知っている割合が高い3項目	知らない割合が高い3項目
1位 スポーツ少年団(68.5%) 〔前回調査:74.5%〕	1位 地域スポーツ振興担当コーディネーター(78.2%)
2位 障害者スポーツ(60.9%)	2位 学校体育施設開放事業(59.9%) 〔前回調査:31.2%〕
3位 学区体育協会(60.4%) 〔前回調査:65.3%〕	3位 総合型地域スポーツクラブ (58.7%)〔前回調査:18.2%〕

イ 分析結果

認知度が高い項目について、継続した情報提供に努めるとともに、認知度が低い項目について、情報内容の充実を図り積極的に情報提供を行う必要がある。

(2) 知りたい情報

ア 調査結果

市民	児童生徒
1位 体力・健康づくりの方法 (35.6%)〔前回調査:35.3%〕	1位 競技のルールや練習方法 (32.0%)〔前回調査:26.3%〕
2位 大会・イベントの情報(20.5%) 〔前回調査:14.6%〕	2位 運動・スポーツの大会・イベントのこと(20.2%)〔前回調査: 16.3%〕
3位 施設(利用状況含む)の情報 (13.9%)〔前回調査:23.0%〕	3位 体力・健康づくりの方法 (16.7%)〔前回調査:20.1%〕

イ 分析結果

「体力・健康づくりの方法」や「大会・イベントの情報」、「競技のルールや練習方法」等の多様な情報が求められているため、ニーズに応じた様々な分野の情報を提供していく必要がある。

(3) 情報の入手手段に対する意向

ア 調査結果

- 1位 インターネット(23.9%)
- 2位 チラシ、パンフレット(20.3%)
- 3位 新聞、テレビ、ラジオ(19.5%)

イ 分析結果

インターネットの普及からか情報の入手手段として「インターネット」の希望が高い。一方で、「チラシ、パンフレット」の割合も同程度の高さである。

効率化や情報の一元化の観点からインターネットを推進し、ホームページ内容を

充実するとともに、他の入手手段の整備もあわせて検討する必要がある。

8 運動・スポーツ施設について

(1) 市民の利用状況

ア 調査結果

よく利用する施設	利用したい施設
1位 区スポーツセンター（プールを含む）〔20.4%〕〔前回調査：23.4%〕	1位 区スポーツセンター（プールを含む）〔27.0%〕〔前回調査：30.1%〕
2位 運動広場・公園、グラウンド（13.0%）〔前回調査：16.3%〕	2位 市民球場（7.0%）〔前回調査：3.7%〕
3位 民間の運動・スポーツ施設（8.3%）〔前回調査：7.1%〕	3位 運動広場・公園、グラウンド（6.4%）〔前回調査：7.4%〕 県・他市町村の運動・スポーツ施設（6.4%）〔前回調査：6.8%〕

イ 分析結果

「区スポーツセンター（プールを含む）」の利用者が最も多く、利用希望についても同様に「区スポーツセンター（プールを含む）」が最も多い。区スポーツセンターが市民にとって身近な施設となっていることがうかがえる。

(2) 市民の施設に対する期待や希望

ア 調査結果

- 1位 健康・体力相談体制の整備（16.0%）〔前回調査：18.9%〕
- 2位 スポーツ教室やスポーツ行事の充実（14.7%）〔前回調査：15.3%〕
- 3位 利用案内など広報の充実（10.5%）〔前回調査：10.4%〕

イ 分析結果

「運動・スポーツ施設に一番に期待・希望すること」の上位に、「健康・体力相談体制の整備」や「スポーツ教室やスポーツ行事の充実」が挙げられており、ソフト事業の充実が求められている。

9 運動・スポーツの振興について

(1) 運動・スポーツをする場合に困っていることで、解決してほしいこと

ア 調査結果

- 1位 使いやすい施設や場所（市民、児童生徒ともに29.1%）
〔前回調査：市民34.3%、児童生徒29.7%〕

イ 分析結果

運動・スポーツをする場合に困っていることで、解決してほしいことの1位に「使いやすい施設や場所」が挙がっており、気軽にスポーツを楽しみたいというニーズがうかがえる。

(2) 今後の運動・スポーツの振興のあり方

ア 調査結果

<大切と回答した市民の割合>

1位 高齢者、障害者が参加しやすいスポーツ環境の整備(79.5%)

[前回調査:83.3%]

2位 地域スポーツクラブの育成など、市民が日常的にスポーツに親しめる環境づくり(76.4%) [前回調査:81.0%]

3位 運動・スポーツ施設の整備、充実と有効活用(73.9%) [前回調査:82.7%]

イ 分析結果

「高齢者、障害者が参加しやすいスポーツ環境の整備」が約8割と高く、福祉環境整備についての関心が高い。

また、「地域スポーツクラブの育成など、市民が日常的にスポーツに親しめる環境づくり」や「運動・スポーツ施設に整備、充実と有効活用」が上位に上がっていることから、市民が身近な場で日常的にスポーツに親しみたいという思いがうかがえる。